

## 残暑お見舞い申し上げます

埼玉サークル 50周年  
1970 - 2020

## ■大変残念なことです、今夏は月例会以外の行事は中止とさせていただきます

新型コロナウイルスは首都圏で不気味に感染を拡大しています。埼玉サークルでは会員皆さまの生命と健康を第一に、今夏は月例会以外の行事は中止とさせていただきます。

事情ご賢察のうえ、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

## ■月例会の予定

9月8日(火) 19:00~21:10 浦和コミュニティセンター第1集会室 参加費:200円  
風邪などの症状のある方はご参加をお控えください。マスクのご着用をお願いいたします。

## ■10月例会は日時と会場を変更して開催します

10月例会は**日時・会場を変更して土曜日の午後開催**とします。  
お間違いのないようご注意ください。

日 時 10月10日(土) 13:30~16:50

会 場 武蔵浦和コミュニティセンター 第9集会室

(JR埼京線・武蔵野線 武蔵浦和駅西口からデッキで直結 徒歩2分 サウスピア8階)

参加費 200円

風邪などの症状のある方はご参加をお控えください。マスクのご着用をお願いいたします。



## ■埼玉サークルホームページの掲示板をご活用ください

行事の開催中止が続いて会員皆さまにはご迷惑をおかけしておりますが、少しでもその代替をと、皆さまの情報交換や映像発表(3MBまで)の場として、埼玉サークルのホームページ上に掲示板を設置していますのでご活用ください。また、オンラインでの懇親会も開催していますので、ご参加にはパソコン(カメラ、マイクも必要)またはタブレットやスマホ等が必要ですが、飲物とお飲みをご用意のうえ、この掲示板からご参加ください。

埼玉サークルのホームページ <http://tetosa1970.g1.xrea.com/>

掲示板のアクセスキーは、[ホームページ記載の問合せ先](#)へ氏名と会員番号を明記してお申し込みください。

ご投稿いただく際は氏名のご記入をお願いいたします。

## ■埼玉サークル2020・2021年度の役員です &lt;よろしくお願ひします&gt;

7月例会で2020・2021年度の役員が選任されました。

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 東京支部委員  | 川口精一郎 (東京支部総会で承認後、就任となります) |
| 会 計     | 須永 望                       |
| 会 計 監 査 | 加藤 健夫                      |
| 幹 事     | 手塚 努、藤岡 裕、吉岡 秀樹 (敬称略)      |

## ■7月例会報告

7月14日(火) 浦和コミュニティセンター 第4集会室 19:00~21:10 参加 7名

情 報 交 換 3/14東京メトロ千代田線のダイヤ改正で、平日の千代田線からの各駅停車唐木田行きが廃止となった。  
鉄道博物館の企画展「全線運転再開記念 常磐線展」が会期変更し9/6まで開催されている。 他

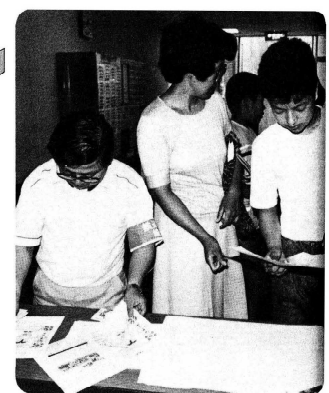
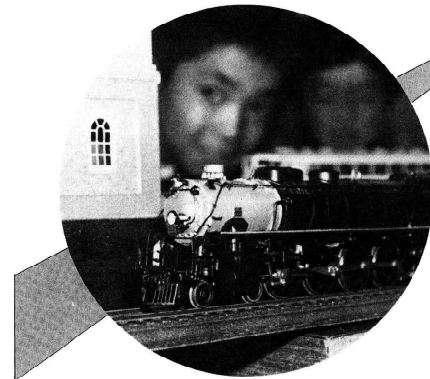
議 事 2020年度 埼玉サークル事業計画案 承認、2020・2021年度 埼玉サークル役員 選任  
映 像 3/14JR常磐線全線運転再開・芳賀・宇都宮LRT工事状況  
頒 布 資 料 ダイヤ改正2020.3.14(JR東日本)、全線運転再開記念 常磐線展(鉄道博物館)、渋谷駅ホーム並列化工事 埼京線・湘南新宿ライン大崎~新宿終日運休5月30日・31日、他パンフレット類

## 2020年 50年を迎えた埼玉サークル(10)

東京で56年ぶりにオリンピックが開催されるはずだった今年2020年に埼玉サークルは発足50年を迎えました。オリンピックは来年に延期されましたが、埼玉サークルの記録ファイルの中からかつての記録をご紹介します。

## 「さいたまグラフ」(1983年8月号)に紹介

ヨシダシズオ埼玉サークル代表(当時)は埼玉サークルの存在を、新聞、雑誌、テレビ等のマスコミで積極的に周知することに尽力されました。今回は、埼玉の人・街・暮らしの情報を発信するグラフィックマガジン「さいたまグラフ」に掲載された例をご紹介します。コロナ禍で行事開催もままならない現状ですが、活発に活動していた当時が懐かしく思い出されます。

鉄道友の会  
埼玉サークル

走るなどという情報の交換から、懇談会、見学会、乗車会、やることがまた幅が広い。なにはともあれ、世を越える長い間、日本の発展を担ってきた鉄道のこと、今や少少斜陽とはいえ、研究すればするほど奥は深い、サークルの人々は、やがて充分である。

## 中学生からお年寄りまで「奥深い」とやる気充分

鉄道が好きで好きでたまらない人たちの集まりがある。その名は鉄道友の会。埼玉サークル、吉田道雄さんを代表に、会員が約100名という大団帯である。

毎月、第1土曜日に例会を持ち、中学生からお年寄りまで、会員は、まことにバラエティに富んでいる。

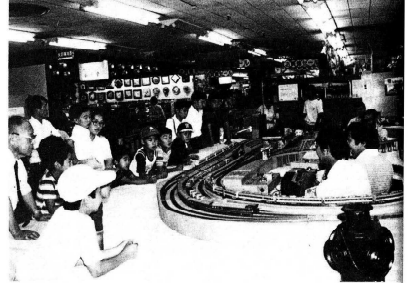
観望はもとより、どこかで新しい車輛が入った、どこ線が廃止になる、どこにSLが



▲定例会



▼映画観賞会



▲模型鉄道の走行は人気がある

■「力」と題した、まど・みちおさんの詩「あまりのかゆさに 目がさめ あかりをつけてみると みぎての うでに ピンクの ミニパラ ーりん」。様々な感染症を媒介する蚊は、雌が人の血を吸い産卵しますが、まどさんはここで小さな命の誕生を祝い生命を賛歌しています(読売新聞6/26)。しかし、今世界中を混乱に陥れている狡猾な新型コロナウイルスは、その誕生自体が祝福どころか、忌嫌われ、哀れさすら感じますが、その殲滅に向けては人類の叡知を結集する長い闘いになりそうです。当面は「新しい生活様式」で感染拡大を抑えていくしかないのでしょうか。(F)

埼玉サークルは、中高生会員の皆さんが参加しやすいよう、例会・行事の参加費を免除しています